

～翼をひろげて ⑫～ 翼をひろげて

進路面のサポートを続けてきたこのコーナーも今回が最終回になります。まだまだ試練は続いています。決して終わったわけではありません。進路というのは生き方の問題。高校を卒業して進む場所が決まったからといって本当は終わりではないのです。伊丹北で学んできた知識、表現力、実践力を活かし、次なる場所で更に自分の夢に近づいて行ってください。

1年間を五つのタームに区切り、その時々々の注意点を挙げながらお話してきました。早くに次の行き先を決める人もいれば、まだ決まらずこれから後期入試を受けていく人もあります。しかし最初にお断りしたと思いますが、私は最後まで頑張らなければならない人に合わせてペース配分を伝えてきました。進路の問題は226人全員、事情が異なります。早く決まるから良い、悪い…偏差値が高いから良い、悪い…では決してないのです。要は自分が次なるその場所へ行って充実した人生が歩んでいけるか、自分の夢へ近づいていくことができるかということが一番大切なことなのです。いくら偏差値の高い大学へ入学しても、合わなくてやめてしまう人だっているのです。本当の意味で、なりたい自分に近づいて行くのはこれからです。

後期入試に取り組もうとしている諸君へー

自分磨きを続けてきた成果を、最後の最後まで諦めずに見極めていきましょう。最終的にどの大学に決まるとしても、諦めきれない所があるなら、自分をごまかさず、許される限りねばって勉強を続けましょう。もしかしたら今が一番苦しい時期かもしれません。しかしその苦しみは今しか味わえません。暗闇の中にいると、早くここから抜け出したいと、誰もがそう願います。しかしまだ見ぬその場所を想像し、どこへ向かっていくのかを決められるのは今しかありません。勿論、走り出してからでも修正はいくらでも出来ますが。

18歳の諸君には輝ける未来が待っています。諸君が思っている以上に若いという事は素晴らしいことなのです。ただ、残念ながらその輝きは何もしなければ、歳とともに薄れていきます。永遠ではありません。いつまでも輝きを失わない為には自分なりの努力が必要です。大学の名前がその輝きを与えてくれるわけではありません。そんなものとは関係なく輝くことも出来れば、すぐに光を失ってしまう場合もあります。それは自分次第。自分の選んだ場所でどれだけ自分を磨き続けるか…それによって変わってきます。自分を磨いていれば素晴らしい人との出会いがきっと待っています。それを見逃すことなく大切にしてください。

向かうべき道へ“一歩”を踏み出しましょう。大いなる空へ、翼をひろげて。

「諦めなければ夢は叶うというものではないかもしれない、でも諦めれば絶対に夢は叶わない」

明日、2月28日、伊丹北高校第38回卒業式ー。
みなさんはこの場所から新しい場所へ飛び立ちます。不安と期待が入り混じった何ともいえない気持ちを抱きながら。
そう、ちょうど3年前、この場所で私たちと出会ったあの時のように。
でも違う、あの時とは。あなた達は確実に成長し、階段をゆっくりと登ってきた。
だからこれからも、あわてずに。ゆっくりでいい。急がなくていい。だから…
前へー進もう。

